

2013年(平成25年)5月30日 木曜日 (4)

収穫待ち遠しい

旧唐桑小
仮設住宅 ミニトマトの苗植え

気仙沼市の旧唐桑小
学校仮設住宅で28日、
住民が環境に優しい
栽培キットを使って
ミニトマトの苗を植え
た。

被災地支援を行って
いるNPO人権セン
ターHORIZON
(片岡遼平代表)が主
催。大阪の緑化資材製
造販売会社・グリーン
サポートの協力で、大
船渡市から気仙沼市ま
で17カ所の仮設住宅を

訪問。気仙沼では13カ
所約600個の栽培キ
ットを無償提供した。
栽培用の容器となる
ポットは、トウモロコ
シを原料にした植物由
来のプラスチック製で、
将来的には土に戻るよ
う開発された製品。全
国植樹祭など各地で使
われているという。
これに、通水性など
に優れているヤシの実
の殻を原料にした用土
を入れ、ミニトマトの



ミニトマトの苗を植える住民

苗を植えて水をやっ
た。トマトは7月ごろ
には収穫できる予定

で、集まった住民たち
は成長を楽しみに作業
していた。プランター
でネギなどを育ててい
る菅原幸男さん(73)は

「たまにはみんなで作
る作業もいい。収穫が
待ち遠しい」と話した。
大阪から訪れたグリ
ーンサポートの伊東信
昭社長は「『これから
育てる楽しみができ
た』と言われたことが
何よりうれしい」と話
していた。